

出張報告

報告日 2025年11月10日

会派名	柏盛クラブ
報告者氏名	三宮 直人
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究 (<input type="checkbox"/> 行政視察) <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	令和の地方議会に求められる議員力アップ研修 ① 生成AIを活用した議員活動の基礎 ② 生成AIを活用した議員質問の作り方
日時	令和7年11月9日(日) 13時00分~17時00分
場所 (会場)	オンライン受講
調査項目等	
概要	<p>1. 生成AIを活用した議員活動の基礎</p> <p>(1) 生成AIでできること</p> <ul style="list-style-type: none">・生成AIとは、ChatGPTの基本的な使い方など <p>(2) 的確な回答が返ってくるポイント</p> <ul style="list-style-type: none">・質問は具体的にする、回答の形式も指示する(300字以内など)・質問は一度に一つとし追加して聞く、回答はたたき台と考える・困ったら「どう聞けばいいか?」と質問、回答の正確性は自分で確認 <p>(3) 政策実現のための基本的な使い方(リサーチ→分析→壁打ち→質問案)</p> <ul style="list-style-type: none">・基礎資料の要約、先進事例の調査、論点の抽出(視点)・質問案の作成、深掘り(壁打ち) <p>(4) ブログや広報での活用方法</p> <ul style="list-style-type: none">・議会発言の内容を要約してブログ等で発信する・ブログのアイデア出しに活用する(旬な情報など)・写真の加工(アニメ風、ラフな服装に加工など) <p>2. 生成AIを活用した議員質問の作り方</p> <p>(1) 事実確認だけでなく政策提言となる質問を</p> <ul style="list-style-type: none">・事実確認→市の見解→政策提言(●●も取組むべきでは)の流れ・「調査します、検討します」で終わらせない。5W1Hで組み立てる。・議会質問で取り上げ進捗確認→何が課題か→何がクリアされたか・行政計画のスケジュールに合わせ質問する

	<ul style="list-style-type: none"> ・所管事務事業調査の活用（地方自治法第 109 条 2 項、8 項） ・視察後、何が良かったか→どうすればできそうか→委員、担当課と共有 <p>(2) 財政分析／事業分析への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政状況資料（決算カードなど）の ChatGPT での活用 ・ファイルを読み込ませてプロンプトを工夫し資料を作成する
所感等	<p>ChatGPT は他自治体の取組み調査や文章の要約などに使ってきましたが、使う幅と深さを広げる機会となった。試しに地デジ共聴困難地域と小中学校の統合について使ってみたがもっともらしい回答を得た。特に背景となる国県市の法律や条例との関係性の整理については効果的であった。ファクトチェックに注意しながら使っていきたいと思う。大変役に立つ研修を受講させてもらった。</p>